

カーボンニュートラルに 取り組みませんか？ ～脱炭素経営～

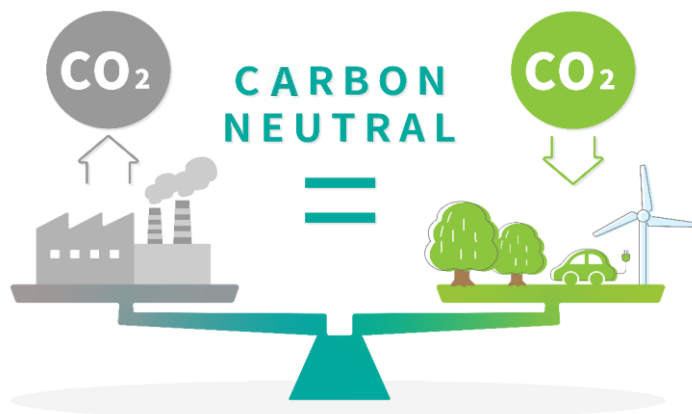


カーボンニュートラルとは

CO₂をはじめとする温室効果ガスが

$$\text{排出量} = \text{吸収量}$$

となり、実質排出量が 0 の状態を指します。



2020年10月、政府は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

脱炭素経営とは、気候変動対策（≒脱炭素）の視点を織り込んだ企業経営のことで、経営リスク低減や成長のチャンス、経営上の重要課題として全社を挙げて取り組むものです。

なぜ取り組むのか？

- ・日本の平均気温は、100年あたり1.30℃の割合で上昇しています。
- ・気候変動に伴い、今後、豪雨や猛暑のリスクが更に高まることが予想され、自然生態系、自然災害、産業・経済活動等への影響が出ると指摘されています。
- ・北海道でも流氷の減少や海水温の上昇による漁業への影響などが懸念されています。
- ・将来の世代も安心して暮らせる、持続可能な経済社会をつくるため、今から、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、取り組む必要があります。